



算数の学習をはじめましょう。  
教科書2ページ①の問題をみてください。

1

下のように、おはじきで正三角形の形を作ります。

10番目の正三角形の形を作るのに、おはじきは何個必要ですか。



おはじきをならべて三角形を作ります。

10番目まで作らなくても何個のおはじきが必要かを考えてみましょう。



何かきまりはないかな？

1番目、2番目…となるとおはじきの数もふえています。



自分の考えを図や票、式を使って書いてみましょう。  
155ページにおはじきの図があるので、使いましょう。



何番め	□(番め)	1	2	3	4	5
おはじきの数○(個)		3	6			

3番目はおはじき9個、4番目は12個3個ずつふえています？





自分の考えとこうたさん、はるとさんの考えとくらべてみましょう。

こうた

1番め      2番め      3番め      4番め

10番めは、 $10 \times 3 = 30$       答え 30個

1番目は1個が3つ  
 2番目は2個のまとまりが3つ  
 3番目は3個のまとまりが3つ  
 と考えると、10番目は10個のまとまりが3つになるから  
 $10 \times 3 = 30$  で30個

はると

何番め	□(番め)	1	2	3	4	5
おはじきの数○(個)		3	6	9	12	15

$10 \times 3 = 30$       答え 30個

1番目は3個 ( $1 \times 3 = 3$ )  
 2番目は6個 ( $2 \times 3 = 6$ )  
 3番目は9個 ( $3 \times 3 = 9$ )  
 □番目  $\times 3$  になっている。  
 10番目は  
 $10 \times 3 = 30$  で30個



2人とも何番目を表す数とおはじきの数の関係に気づけていますね。式で表すと2人とも  $2 \times 3$  になっていますね。今日のまとめをして、正方形の形だったらを練習問題としてやってみましょう。(

練習問題



もしも、正方形の形にならべたら…。

りく

今日のまとめ  
 整数や小数では、0から9の数字が書かれた位置によって何の位かが決まる。また、それぞれの数字は、そのくらの数が何個あるかを表している。

練習問題の答え □番目  $\times 4$  になるので、10番目は  $10 \times 4 = 40$  40個

